

(令和2年9月14日)

< ワンポイントレッスン (理論・基礎知識) >
(分散投資と集中投資・その4 (集中投資-2))

前回は、集中投資-1。2019年の投資パフォーマンス。前年末に投資して1年間保有した場合、平均株価の変動率が大きくない年でも個々の銘柄の株価は2倍になる銘柄から50%以下になるなど投資パフォーマンスが大きく振れる株式という「商品の特性」を実感して戴けたと思います。

振り返って、「分散投資は平均値指向、集中投資は高パフォーマンス指向」と述べました。株価は森羅万象の動きを反映すると言われる中、集中投資の投資手法は、様々。各人各様と言っていると思います。もっとも、教科書的には株価上昇のベースになるのは企業業績。個別銘柄の業績動向を判断するのが第一歩。有価証券報告書や決算短信で銘柄を詳しく知ることが重要です。また、これは一例ですが、注目している投資テーマから銘柄選択に繋げるのも有効。複数の銘柄を比較・分析・選択するとか、複数の投資テーマでポートフォリオを構築するのも一法です。

(最近の人気投資テーマ)

人気テーマ	
1位 半導体関連	6位 Apple(米)関連
2位 テレワーク	7位 コロナウイルス関連
3位 スーパー	8位 タクシー・ハイヤー
4位 貴金属	9位 マンション
5位 情報通信	10位 亜鉛

投資テーマ				
あ行	か行	さ行	た行	な行
は行	ま行	や行	ら行・わ行	英数字

出所：トレーディングサポート J-GX 「ニュース&投資テーマ」。

上表は、最近注目を集めている人気テーマですが、第2位のテレワークでは、結構幅広く数多くの銘柄が収録されていて、一銘柄・一銘柄吟味・比較してみると意外なヒントも…。また、半導体関連など収録されている銘柄間の連動性が高い投資テーマもあり、よく似た動きをする銘柄からタイミングをみて選択するとか・・・使い方は様々です。